

基本課題1 男女共同参画を推進する教育・学習の充実(課題1～3)

課題1 学校等における男女平等の精神をはぐくむ教育の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
1	保育所、幼稚園等の指導計画及び事例の点検と改善	行事、遊びの指導における事例確認のための職員ミーティング	子育て支援課	職員ミーティングを開催し、行事や遊びの指導において性別による固定意識を植え付けずに指導した事例を取り上げ、指導方法について定期的に確認をする。 【目標値】 職員ミーティング年2回実施	・発表会、節分等の行事における配役、作品制作における色選び等を子どもたちの意思を尊重して決定した。 ・行事の案内に、「ご家族お揃いで」と案内するよう徹底している。 ・日常の遊びの中で、戦いごっこやままごとなど、男女一緒に楽しめるようにしている。 ・全保育所において、年2回ミーティングを実施	【問題点・課題等】 特になし 全保育所において、年2回ミーティングを実施	A			A
2	小中学校の指導計画について男女共同参画の視点からの見直し	男女平等教育の実践活動への支援	学校教育課	学校訪問時に実践例などを紹介しながら、男女平等の視点から教育活動を見直し、改善を図るように指導・助言を行う。 【工夫すること】 男女平等の視点を具体的に示しながら教育活動見直し・改善への意識の高揚を図る。 【目標値】 市内の全小中学校(33か校)で指導を行う。	学校訪問時、指導主事が各校の教職員に次のことを指導している。 ① 発達段階に応じた性指導の実施 ② 男女平等意識を育む人権教育の実施 ③ 男女平等の視点による教育活動の見直し・改善	【問題点・課題等】 教育活動の見直し・改善への意識を持続させるためには、学校訪問等を活用しながら、引き続き教職員への働きかけをしていく必要がある。	A			A

課題2 男女共同参画意識を高める様々な学習機会の提供

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
3	男女共同参画意識の普及	男女共同参画に関するセミナー受講者への男女共同参画意識の普及	生涯学習課 (公民館含)	施策No.41、43、44の事業により普及する。	計画どおり実施したり普及する。		A			A
4	学習参加者の市民活動への参画の支援	市民活動団体に関する情報の提供	地域経営課	<p>セミナー等の受講者が実際に活動につなげていけるよう情報の提供等を行っていくとともに、セミナー時に合わせてアンケートを実施し市民活動へ参画しているかを調査する。</p> <p>【工夫すること】 受講者の市民活動に対するやる気を引き出したり、参画を促したりするよう心がける。</p>	<p>【変更あり】 平成23年1～2月に開催した、「まちなかの活性化」をテーマに地域づくりの手法や考え方を学ぶ人材育成講座『地域づくり応援塾』において、講座終了後に実際の活動に結び付けられるよう受講生に対し講座毎にふりかえりの時間を設け、活動状況調査や参画意識の醸成を行った。また講座の最終回にはグループで検討した地域づくりの事業プランの提案発表を行った。</p> <p>会場内には、市が主催するまちづくり関連の情報や、受講者同士の活動への相互理解を深めるための「地域振興情報コーナー」を設置した。</p>	<p>【評価理由】 計画以上のことが実施できたため。</p> <p>【問題点・課題等】 提案した事業の実現に向けた支援が必要であるとともに、来年度実施する他の講座の受講者に対しても、同様のふりかえりや情報提供を実施していく。</p>	A			A

		市民活動団体に関する情報の提供	市民窓口課	<p>セミナー等の受講者が市民活動につなげていけるよう情報の提供等の支援をするとともに、セミナー受講後、アンケートを実施し市民活動へ参画しているかを調査する。</p> <p>【工夫すること】 ひとひとつフォーラムの際に、パンフレット等で市民団体の紹介を行う。</p>	<p>ひとひとつフォーラムのパンフレットにて市民団体の紹介を行った。</p> <p>また、女性のためのステップアップ講座の事後アンケート(3か月後)を実施し、市民活動への参画を確認した。</p> <p>実施時期:2月 回収率:70%(30人中21人) 受講後の市民活動への参画:2名</p>	<p>【評価理由】計画通り実行した。講座受講後、市民活動に参画した受講生を確認した。</p> <p>【問題点・課題等】 アンケートの意見を受けて、次年度の計画を検討していきたい。</p>	A		A
--	--	-----------------	-------	--	---	---	---	--	---

課題3 メディアにおける男女共同参画の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
5	メディアを読み解き発信する能力の育成	「メディア・リテラシー講座」の実施	市民窓口課	<p>【演題】「テレビのCMを2倍楽しむ方法、教えます！CMの中の女と男大研究」</p> <p>【講師】吉田清彦さん</p> <p>【実施時期】7月2日(金) 午後1時半～</p> <p>【工夫すること】より多くの方に来ていただくよう、広くPRする。</p> <p>【目標値】「気づき」のあった人の割合が参加者の80%以上</p>	<p>計画どおり</p> <p>参加者:20名</p> <p>アンケート結果:「とてもよい、よい」 84%</p>	<p>【評価理由】目標値には達したが、定員5名のところ20名の参加だったため、Bとした。</p> <p>【問題点・課題等】平日午後の開催だったためか、参加者がすくなかった。集客方法や開催日程を検討したい。</p>	B		参加者を増やすよう引き続き、努力いただきたい。	B
6	市の作成する広報誌・出版物等における性差別につながる表現の推進	広報さんじょう記事における性別による固定的役割分担イメージ解消	政策推進課	<p>広報誌等で掲載するイラスト等について、性別による固定的役割分担をイメージされないように選択する。</p> <p>*刊行物の作成にあたって(職員用手引)を参考とする。</p>	<p>広報さんじょうに掲載する写真、イラストの選択にあたっては、性別による固定的役割分担をイメージされないようにした。また、印刷会社がイラストを作成する場合は、性別による固定的役割分担をイメージされないイラストにするよう、事前に指示した。</p>		A			A
		男女共同参画の視点に立った広報紙、出版物等の確認	市民窓口課	<p>広報紙や出版物等について、男女の人権を尊重した適切な表現であるか確認し、必要に応じ指導助言する。</p>	<p>広報紙等で不適切なものはなかった。</p>		A			A